

(3) ワゴンタクシー見直し (案) について

1) 概要

①現状の確認 既存2路線 (平成20年度実績)

	運行回数 往復/日	年間利用人員	前年度比	年間補助額	バックアップ 運行回数
明星ルート	8	21,357 人 (88 人/日)	99% (H21.9 迄 101%)	6,000,000 円	142 回 (348 人)
平山ルート	7	7,847 人 (32 人/日)	99% (H21.9 迄 91%)	6,000,000 円	0 回 (0 人)
合計		29,204 人	99%	12,000,000 円	

②見直しの目的と方針

・体系的な公共交通ネットワークの構築	「路線バス」「ミニバス」「ワゴンタクシー」の各交通モードの役割と今後のあり方を踏まえ、再編・見直しを実施し、公共交通ネットワークを構築する。
・丘陵地における生活交通確保策の検討	丘陵地補完型交通として運行されている「ワゴンタクシー」は、高齢者福祉の目的が強く、平日のみの運行であることや、路線によっては運行経費に対して利用者が少ないため、より効率的な運行形態への見直しを検討する。



- ①バスとの連携強化による運行効率化
②丘陵地に適した公共交通システムを検討

③前提条件

・補助額の維持	現在の補助金額を上限とする。
---------	----------------

④検討内容

・現行サービスの見直し	実態調査等の結果などをもとに路線の分割など、サービスの見直しを検討する。
・デマンド型を含めた交通システムの具体的検討	地域の実情に即した新しい交通システムの導入を検討する。

2) 見直し案

	現 状	変更内容	効果	備考
明星 ト	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニバス川辺堀之内路線の開設により、川辺堀之内地区での路線の重複が発生している。川辺堀之内地区での乗降客数は極めて少ない。 ・モノレール高幡不動駅～明星大学間は、大半が住宅地を運行経路としているため利用者数が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニバス川辺堀之内路線との重複を経路変更により解消する。現在、1時間10分程度に1本である運行を時間1本に調整する。(ラウンドダイヤ) ・バックアップでの輸送も月数回あることから、今後、更に増加が見られた場合には大型車両(15人乗り程度)への車両変更も見込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者にわかりやすい運行ダイヤと、バックアップの対応を減らすことにより、利用者に信頼感、安心感を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定時性による運行への安心感を持たせることにより利用者の増加を図る。 ・車両に乗れないという不安感を払拭することにより利用者へ安心感を持たせ利用者の増加を図る。
平山 ト	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が平山苑地区のみに限定されているため、利用者数も伸びていない。 ・運行内容の抜本的な見直しが必要と考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーの仕組みを準用して、出発地・目的地(病院など)・運賃を固定した運行形態を検討する。 運賃割引制度として、定期券・回数券等も検討する。(一部、市の補助も検討) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の利用規模に応じた運行形態に転換することで事業費の削減を図ることができる。 ・昼間のタクシー空き車両を有効に活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド型は予約の手間による利用者の減が想定される。また、初期投資の財源確保も課題となる。 ・運輸局など、関係部署との調整が必要となる。 ・他事業者との調整が必要となる。

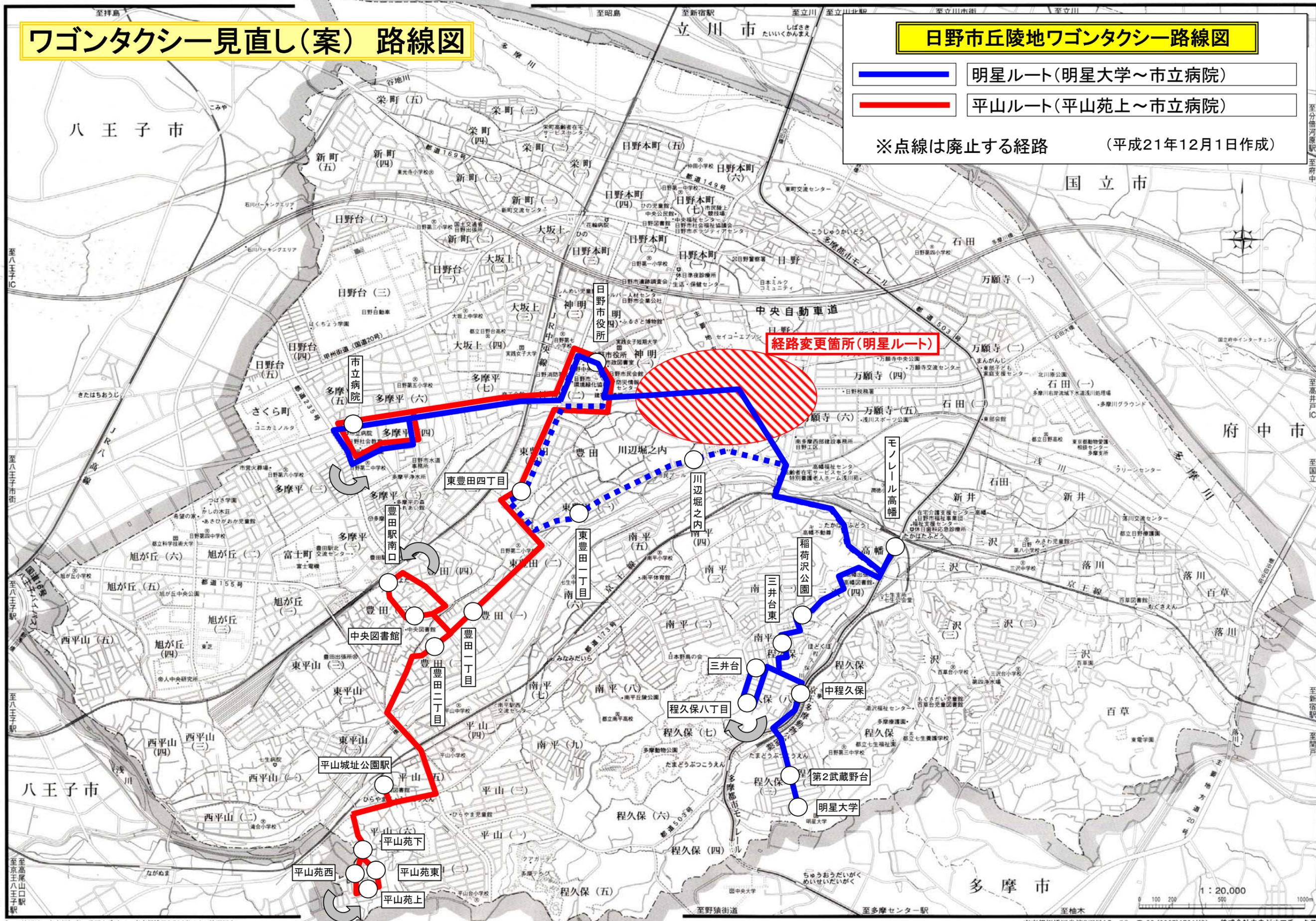
平成十七年三月作成

ワゴンタクシー見直し(案) 路線図

日野市丘陵地ワゴンタクシー路線図

- 明星ルート(明星大学~市立病院)
- 平山ルート(平山苑上~市立病院)

※点線は廃止する経路 (平成21年12月1日作成)



日野市役所

この地図は、東京都知事承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を
使用して作成したものである。(承認番号)16都市基交第511号